

## 安心と安全と…

例年になく雪が降ったなあと思っていましたが、全体的には暖冬だったそうで、すでに桜の開花の便りも聞かれます。今年も 3 か月が過ぎましたが、世界は米国トランプ大統領と北朝鮮の金正恩に振り回されています。国内では、連日、豊洲市場移転問題と森友学園についての報道がワイドショーを賑わしていて、よく話題が尽きないなあ后感心しますが、そろそろ大詰めが近づいているようで、先日、石原元都知事が百条委員会に参考人招致されました。石原元都知事はいつもの調子で、「地下水を市場で使用するわけではなく安全で、移転しないのは小池知事の不作為だ」と主張しました。専門委員会でも「建物の 1 階以上の部分は安全」としましたが、市場関係者から「安全と安心は違う」と問い詰められると、座長が「私たちができるのは、サイエンスとして見たときに安全なのかどうかということ。移転できるかどうかの判断は政治的な課題」と答えに窮していました。

振り返って、医療の現場でも安心と安全の問題は常に付きまといまいます。子宮頸がんワクチンの副反応問題も、われわれ産婦人科医を悩ませています。昨年末に子宮頸がんワクチン副反応に関する厚生労働省研究班（大阪大学・祖父江班）が行った全国疫学調査結果が報じられました。結論はワクチン非接種者でも疼痛、運動障害、学習障害などの症状を呈する者が存在し、有症状率に差は無いというものでした。子宮頸がんワクチンは、現在、世界 130 か国余りで承認され、半数の国で

飄

々

広報委員

津永 長門

定期接種となっていますが、日本では副反応がマスコミで大々的に報道されると、政府は早々に積極的接種勧奨の停止を決定したため、以来、事実上の接種禁止状態が続いています。これに対し、WHO の諮問機関である GACVS（ワクチンの安全性に関する諮問委員会）が再三にわたり「日本の薄弱なエビデンスに基づく政治判断は、真の被害をもたらす可能性がある」と指摘し、日本産科婦人科学会、日本小児科学会などもワクチン接種再開を求める声明を出しています。

子宮頸がんは検診を受ければ見逃されることはない疾患ですが、わが国の検診受診率は 40% 弱で、欧米の 90% 前後に比べて著しく低く、子宮頸がんワクチンの登場は、産婦人科医にとっては検診を補完できるものとして大いに期待していただけに大変残念に思っています。今、子宮頸がんワクチン接種後の健康被害を訴える方々が、国と製薬会社を相手取り集団訴訟を起こされていますが、司法の判断を待ちたいと思います。

大辞林によると、安全とは「危害又は損傷損害を受けるおそれのないこと。危険がなく安心なさま。」、安心とは「心が安らかに落ち着いていること。不安や心配がないこと。また、そのさま。」とされています。安全は科学的検証・データにより評価できますが、安心は心理的な要素であり、客観的な評価は困難です。安全と安心を繋ぐもの、それは互いに信頼し信頼されること、信頼関係の構築だと思います。専門家が安全だと言っているからと権力のある者が振りかざしても、信頼されな

ければ、人々に安心を与えることはできません。

石原元都知事が百条委員会へ向かう際に、記者団から現在の心境を聞かれ、「天気晴朗なれど波高し。君ら教養ないから分からんだろ」と、私の目からは不遜な態度に思えました。その後の委員会でのかつての部下に責任を押しつける姿勢を見

ても、都民から信頼を得られるとは到底考えられません。逆に、小池百合子率いるバルチック艦隊に撃破されそうで、引用された秋山真之中佐の苦笑いが目に浮かぶようです。

お知らせのご案内



## 第 34 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー

テーマ 糖尿病合併症へのシームレスな対応  
—血管合併症の早期診断と予防—

日 時 平成 29 年 8 月 26 日 (土)、27 日 (日)

会 場 志摩観光ホテルクラシック  
〒 517-0502 三重県志摩市阿児町神明 731

参加費 50,000 円(proceedings 代を含みます。なお、宿泊費は含まれておりません。) また、8 月 26 日の懇親会をかねた夕食、及び 27 日の昼食を事務局にてご用意させていただきます。

申 込 官製ハガキに氏名、所属、住所、TEL を明記の上、中部ろうさい病院事務局までお申込みください。(参加人数は 100 名にて締切らせていただきます。)

世話人 堀田 饒 (中部労災病院)、清野 裕 (関西電力病院)、  
門脇 孝 (東京大学)、羽田勝計 (旭川医科大学)、中村二郎 (愛知医科大学)

後 援 日本糖尿病学会、日本医師会、愛知県医師会、岐阜県医師会、三重県医師会

事務局 中部労災病院 堀田 饒  
〒 455-8530 名古屋市港区港明 1-10-6  
TEL : 052-652-5511 (内線 7174) FAX : 052-652-5623